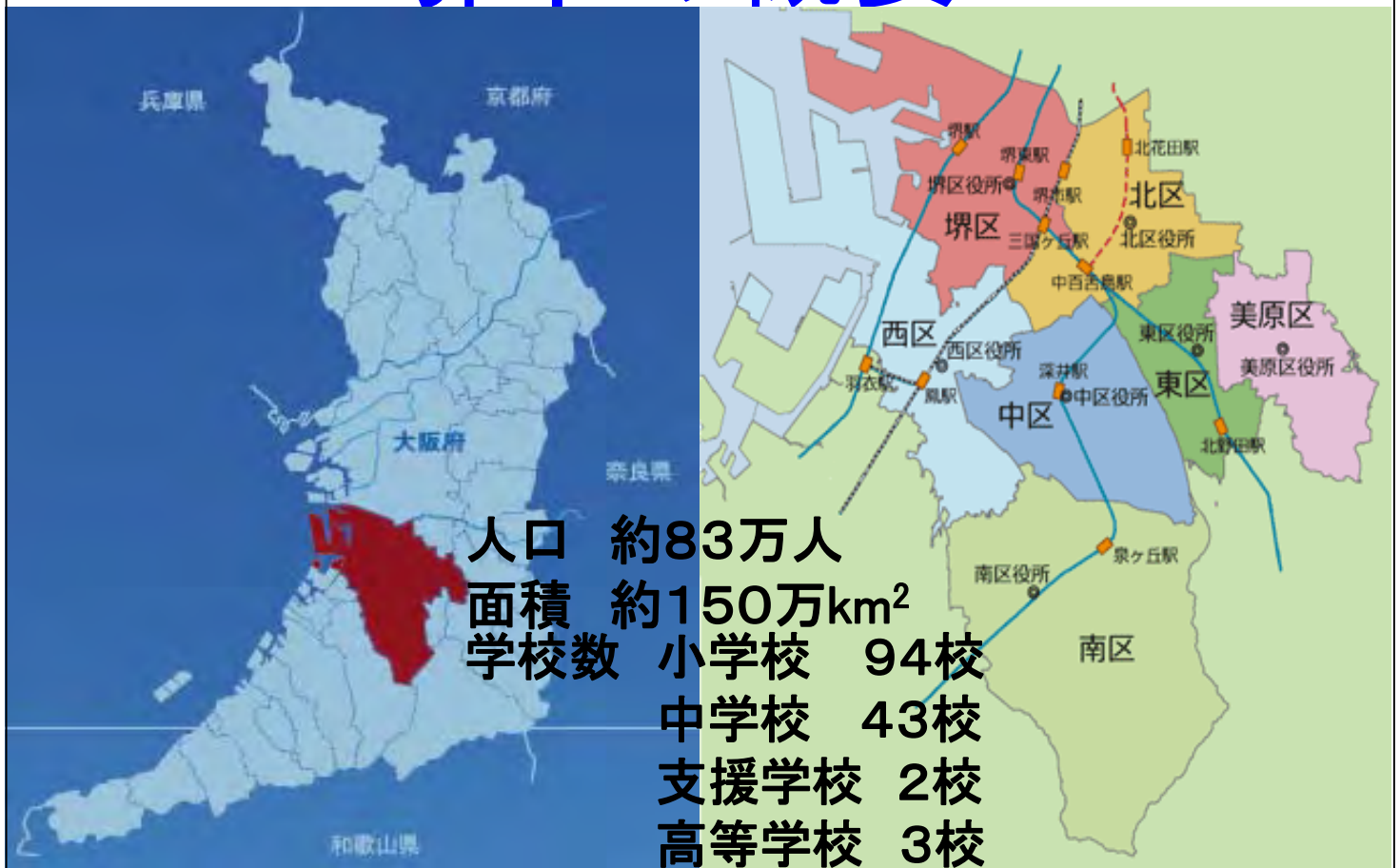


# 「地域協働型の学校経営」と 「学校評価」を活用した 「学校改善の推進」

堺市教育委員会

## 堺市の概要



# 学校評価にかかる本市の課題

## 自己評価

- ・学校評価に対する教職員の意識改革
- ・組織的な取組としての改善

## 学校関係者評価

- ・質の向上と意識の高揚
- ・地域協働型の学校づくりへの活用

実施率(平成22年度) 幼稚園 91% 小学校 93% 中学校 77%

## 平成22年度 研究内容

### ■ 学校間の連携から学校改善へ

タイプⅠ 中学校区の小中学校間で連携  
(小中連携型)

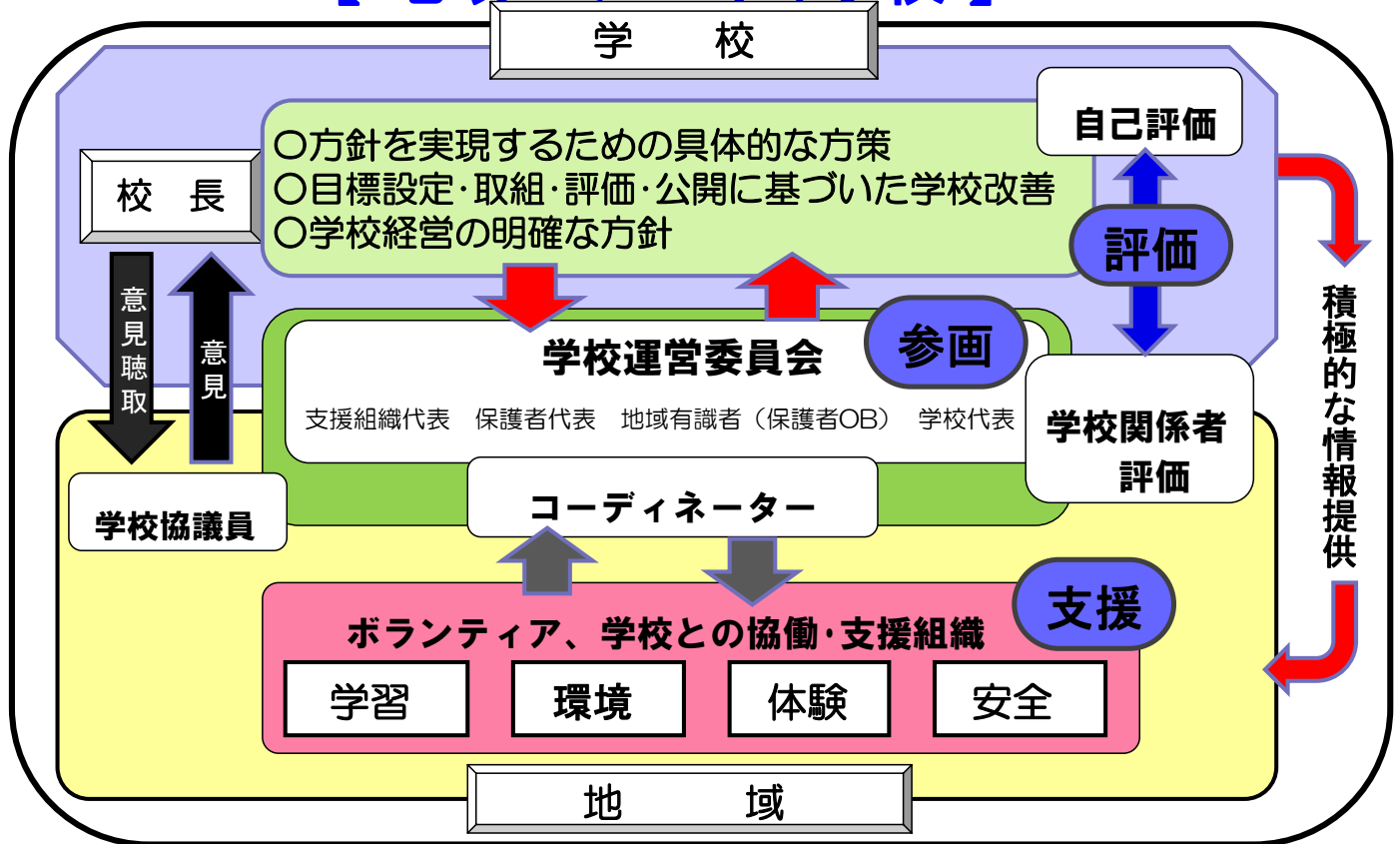
タイプⅡ 中学校区の小学校間で連携  
(小小連携型)

### ■ 組織的な自己評価から学校改善へ

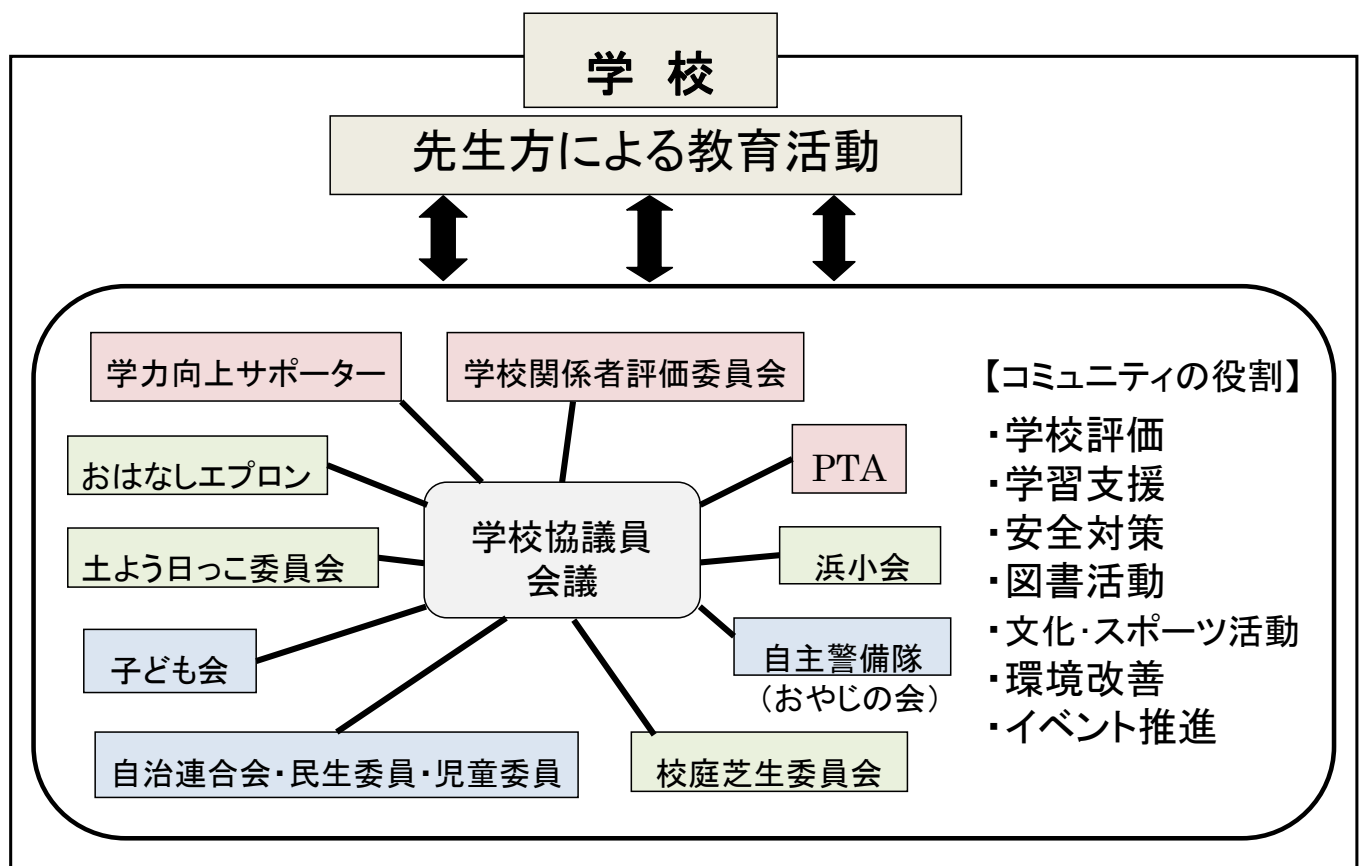
タイプⅢ 各小・中学校で実践 (単独実施型)

# 堺市の地域協働型教育（例）

## 【地域コミュニティ学校】



# 浜寺小学校共育コミュニティ



# 浜寺小学校共育コミュニティ



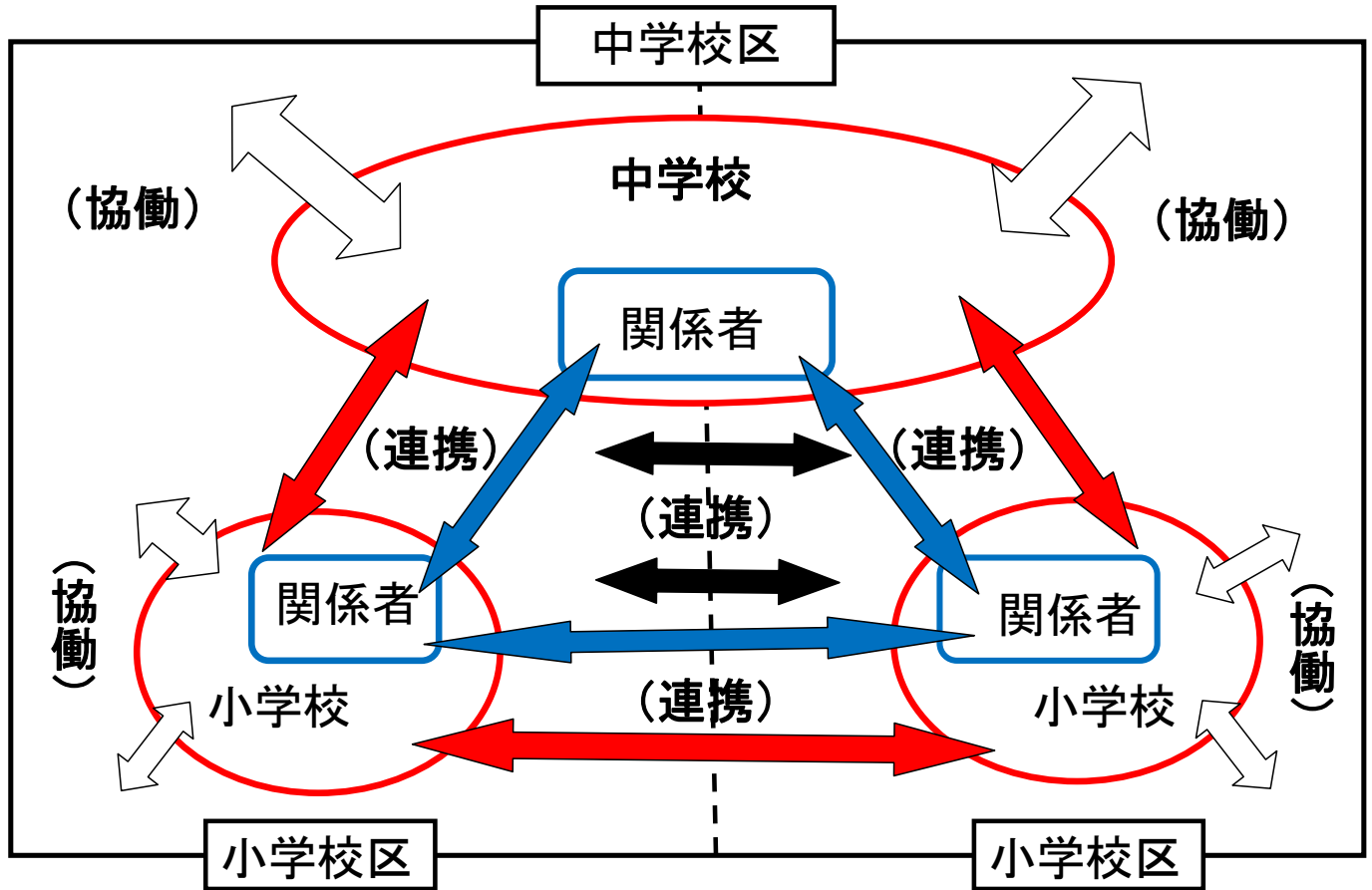
学習支援(赤ペン先生)



地域に飛び出た図書活動

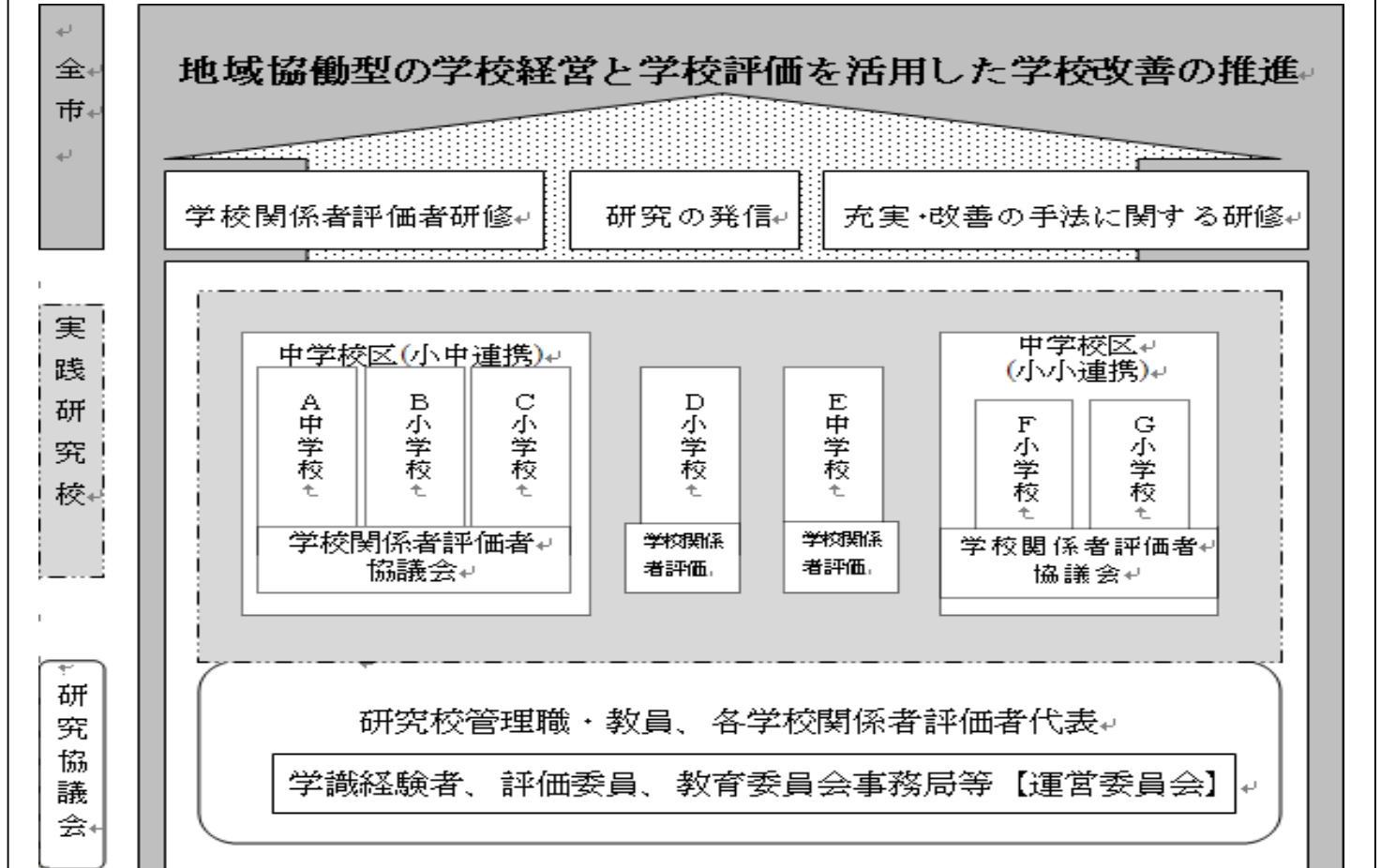


## 学校間の連携





# 平成22年度 研究体制



## 学校間の連携による学校評価から 学校改善へ (小中連携・タイプ I)

- ・小中連携学力向上推進校の2小学校、1中学校の関係者による「学校関係者評価者協議会」の開催
- ※推進校として共通する取組があるため、認識や課題を共有できる



- ・関係者が、学校からの積極的な情報提供を要望
- ・中学校区としての取組に対する関係者の当事者意識の向上
- ・小中相互理解から小中段差解消のきっかけへ

⇒ 学校間のさらなる交流と学校改善へ



# 学校間の連携による学校評価から 学校改善へ (小小連携・タイプⅡ)

平成22年度学校評価計画書

このことに基づいて、下記のように計画し、実施してまいります。

1. 目標及び評価項目等の設定について

今年度の重点目標

①「学びほろろ」の育成を通じた学力向上の取組  
②自らの「体づくり」と「生活づくり」を考える子の育成  
③協働の推進を図るとする子ども及びその周辺にある子どもの教育のニーズに応じた指導と支援

大項目	中項目	具体目標	評価項目	評価方法	評価時期
学力向上	基礎的な学力	①「学びほろろ」の育成を通じた学力向上の取組	①「学びほろろ」の育成を通じた学力向上の取組	①「学びほろろ」の育成を通じた学力向上の取組	①「学びほろろ」の育成を通じた学力向上の取組
		②自らの「体づくり」と「生活づくり」を考える子の育成	②自らの「体づくり」と「生活づくり」を考える子の育成	②自らの「体づくり」と「生活づくり」を考える子の育成	②自らの「体づくり」と「生活づくり」を考える子の育成
健康な体づくり	健康な体づくり	③協働の推進を図るとする子ども及びその周辺にある子どもの教育のニーズに応じた指導と支援	③協働の推進を図るとする子ども及びその周辺にある子どもの教育のニーズに応じた指導と支援	③協働の推進を図るとする子ども及びその周辺にある子どもの教育のニーズに応じた指導と支援	③協働の推進を図るとする子ども及びその周辺にある子どもの教育のニーズに応じた指導と支援
		④「学びほろろ」の育成を通じた学力向上の取組	④「学びほろろ」の育成を通じた学力向上の取組	④「学びほろろ」の育成を通じた学力向上の取組	④「学びほろろ」の育成を通じた学力向上の取組

平成22年度 櫻小学校 学校評価計画書

今年度の重点目標  
学校目標：志しを執り、やりぬく一気貫き子  
重点目標：①「学びほろろ」の育成を通じた学力向上の取組 ②「学びほろろ」の育成を通じた学力向上の取組 ③「学びほろろ」の育成を通じた学力向上の取組 ④「学びほろろ」の育成を通じた学力向上の取組

大項目	中項目	具体目標	評価項目	評価方法
学力向上	基礎的な学力	①「学びほろろ」の育成を通じた学力向上の取組	①「学びほろろ」の育成を通じた学力向上の取組	①「学びほろろ」の育成を通じた学力向上の取組
		②「学びほろろ」の育成を通じた学力向上の取組	②「学びほろろ」の育成を通じた学力向上の取組	②「学びほろろ」の育成を通じた学力向上の取組
健康な体づくり	健康な体づくり	③「学びほろろ」の育成を通じた学力向上の取組	③「学びほろろ」の育成を通じた学力向上の取組	③「学びほろろ」の育成を通じた学力向上の取組
		④「学びほろろ」の育成を通じた学力向上の取組	④「学びほろろ」の育成を通じた学力向上の取組	④「学びほろろ」の育成を通じた学力向上の取組

自ら学ぶ力の育成

健康な体づくり

相手の立場に立って  
考えられる子どもの育成

# 学校間の連携による学校評価から 学校改善へ (小小連携・タイプⅡ)



- ・合同の「学校関係者評価者協議会」の開催
- ・教育活動における交流
- ※地域間連携により中学校区の教育力向上を課題として共有できる



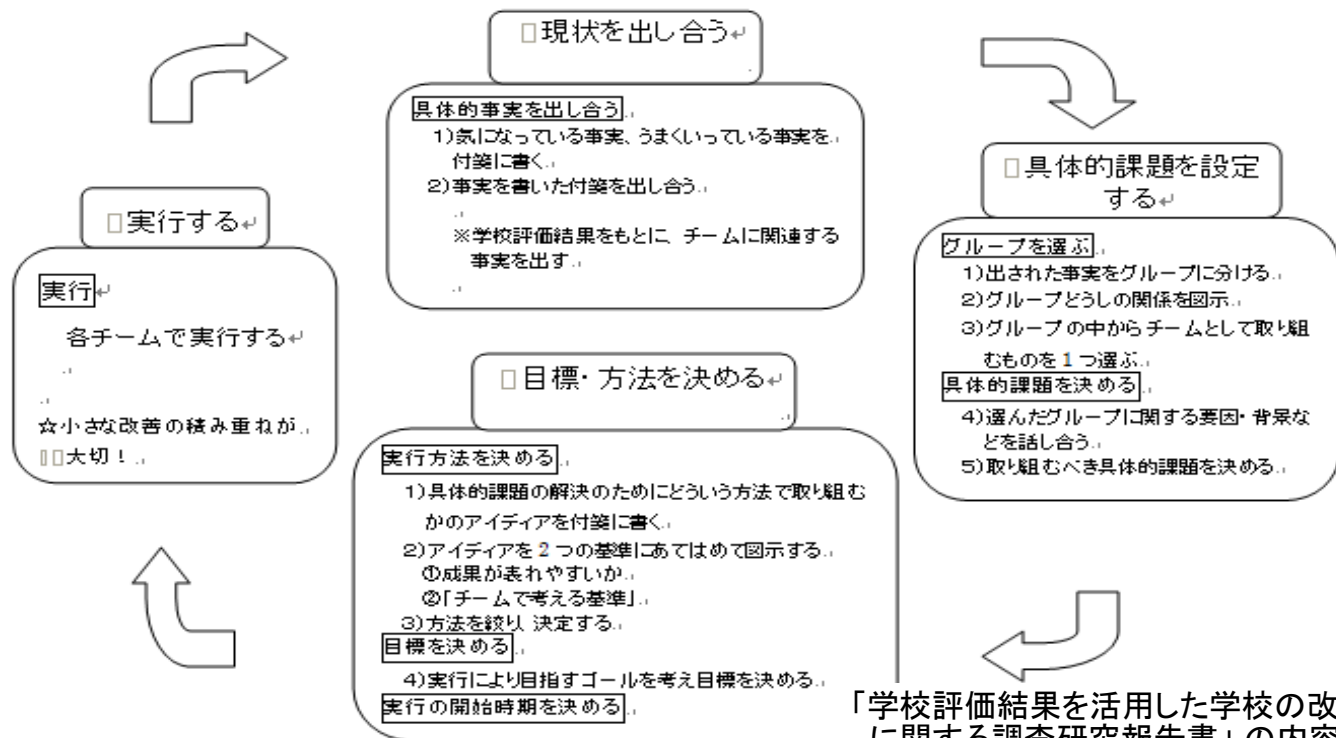
- ・自己評価の共通項目について、児童・保護者アンケートを実施し、学校関係者評価委員と共有
- ・共通する活動において、双方の教諭・保護者・地域住民が参画、協働

⇒ 両校のさらなる交流と学校改善へ

# 組織的な自己評価から学校改善へ 学校運営改善モデルの活用 (単独実施・タイプⅢ)

□チームで「議論⇒実行」□

チームでの議論<第1回>概要



「学校評価結果を活用した学校の改善に関する調査研究報告書」の内容 (PHP総合研究所) から抜粋

# 組織的な自己評価から学校改善へ 学校運営改善モデルの活用 (単独実施・タイプⅢ)

□目標・方法の設定までの記録□

チームでの議論<第1回>記録用紙

This recording sheet is designed to document the team's discussion and decision-making process. It includes the following sections:

- 学校全体の重点目標** (School-wide key goals): A box for recording the overall goals of the school.
- チーム名** (Team name): A line for recording the name of the team.
- 現状を出し合う** (Share current status): A large vertical box for recording the facts shared by team members.
- 具体的課題を設定** (Set specific issues): A box for recording the specific issue chosen for improvement.
- 方法を決める** (Decide on methods): A section for recording the methods chosen to address the issue, including:
  - 出されたアイデア (Ideas generated)
  - 判断基準① (Judgment criteria 1)
  - 判断基準②(チームで考えた基準) (Judgment criteria 2 (criteria thought of by the team))
  - 実行方法 (Implementation method)
- 目標を決める** (Set goals): A box for recording the target outcome, including:
  - いつまでにどうなるか (When will it be achieved)
  - いつから実行するか (When to start implementation)
- 実行** (Implementation): A box for recording the implementation process, including:
  - いつまでに、少しでも実行できたことを各自報告しておく (Report back to the team when and how much was implemented)

「学校評価結果を活用した学校の改善に関する調査研究報告書」の内容 (PHP総合研究所) から抜粋



# 組織的な自己評価から学校改善へ

(単独実施・タイプⅢ)

～ミドルリーダーの育成と学校運営改善モデルの活用～

【 PHP総合研究所 】



具体的課題の設定 → 実行

①リーダーを育てる

→ 学級代表会議で話し合い、学年集会で全体に返し、内容を掲示

②授業の始まりをきちんとする

→ 副担任が8:30に廊下に立ち、朝学習の指導

③家庭学習の習慣をつける

→ 保護者サインを全学年で実施

## 取組による効果と課題

### 【効果】

- 学校関係者評価委員の学校理解を図るための  
積極的な情報と機会の提供
- 学校支援に向けたネットワークの交流  
(地域で子どもをはぐくむ意識の高揚)
- 教職員のモチベーションとチーム力の向上
- 各組織内での役割分担

### 【課題】

- △見通しのある評価活動の取組  
(学校関係者評価委員との評価内容の共有)
- △学校関係者評価委員の主体性と客観性、積極性

学校と子どもを理解しようとする気持ちと  
理解してもらおうとする姿勢



# 学校間の連携 発展的取組

(小小連携・タイプⅡ)



自己評価にかかる取組状況  
について交流

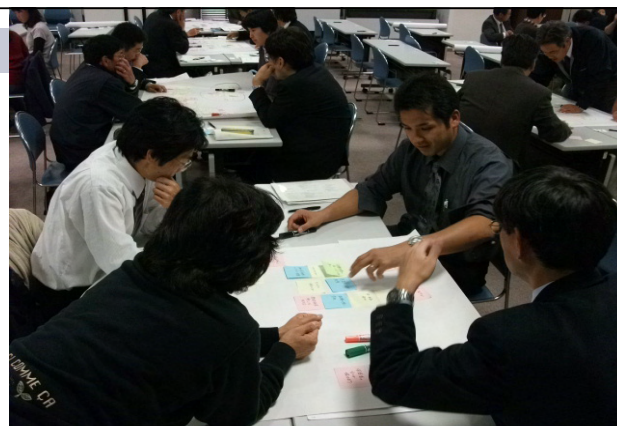


具体的な取組状況について  
学校訪問による交流



## 学校運営改善モデルを用いた 全市的な研修会

～組織的な自己評価への取組～



### 参加者アンケートから

- ・学校の実態をしっかりとらえることの重要性が再確認できた。
- ・しっかりした評価が次の取組への大きなステップになると思った。
- ・自分たちの目標を、自ら考えることがぜひとも必要であると感じた。
- ・説得力のある自己評価にしたいと思った。
- ・学校全体でこの研修を受けるべきである。
- ・学校に戻り、校長、教頭、各主任と改めて話し合って考えたい。



「学校運営改善モデル」を活用  
した全市での研修会の様子

# 今後の取組

## ■ 学校間の連携から学校改善

(小中連携型・小小連携型)

### ・2回目の「学校関係者評価者協議会」の開催

⇒1回目以降の取組状況を交流することで、各学校の自己評価・学校関係者評価の取組に活かす

## ■ 組織的な自己評価から学校改善 (単独実施型)

### ・2回目の学校運営改善モデルの活用

⇒1回目に設定した目標や取組における実行状況のチェックの結果から、取組方法の改善と目標の見直し

## ■ 全市的な自己評価・学校関係者評価の質の向上

⇒本年度の研究の手法や成果を全市へ継続して発信することにより、自己評価・学校関係者評価の質の向上へつなげる